

# 学校だより

小川中学校

No. 22

平成27年11月27日

文責：校長 佐藤正則

## 3学年で思春期講座開催

24日は1年生に、26日は2,3年生と、学年ごとに思春期講座を開き、学年に応じた思春期の性と心、体の勉強をしました。

1年生は本校の養護教諭馬上先生が行い、二次性徴に伴う体と心の変化や問題点を知り、自分や周りの人を受け入れ、男女協力して生活していくことの大切さを学びました。

2,3年生は共立病院から助産師さんを講師に迎えて行いました。どちらの学年も受精から出産に至る生命の誕生と赤ちゃんの特徴、体と心を守るために大切な性感染症の予防について勉強しました。

一昔前に比べ、子どもたちは様々な性情報に囲まれて生活しています。心と体を守る上で大切なものもあれば、興味本位で刺激の強いもの、誤った情報のももあふれています。それだけに性に関することに限らず、様々な情報から有益なものを選択して活用できる力の育成は、とても重要となっています。そのためにも、まずは正しい知識を学ばせることと考え、こうした講座を毎年、重層的に開いています。

12月21日には元一橋大講師で日本思春期学会理事の村瀬先生を招いて性教育講演会を開催する予定です。



3年生の思春期講座



2年生の思春期講座



1年生の思春期講座



### 2年生、修学旅行の準備始まる

25日、2年生は学年集会を開き、来年4月に予定している修学旅行の準備を始めました。

1回目は、旅行先である「京都市」について、映像資料を使って歴史や文化面の勉強をしました。

2回目以降、行程や約束事等を話し合ったりして準備を進めていく予定です

### 新メニューでトレーニング開始!

放課後の部活動の始めに行っている全員トレーニングは、これまで学校周りを走るメニューでしたが、24日から今年度の体カテスト結果から課題を洗い出し、それに見合うメニューでのトレーニングを開始しました。



### ★★★お知らせ★★★

保健体育科では、ダンス学習の仕上げとして、学年ごとに公開発表会を持つ予定です。連絡は、教科担当よりメールにてお知らせします。忙しい折とは思いますが、ぜひ、ご覧になっていただきたいと思います。



# 自立心の現れ：卒業旅行で被災地ボランティアを 16, 17日にオーストラリアの高校生と交流

本校を訪れたのは、オーストラリアの女子高生2人で、今年10月に卒業し、その記念旅行で日本を訪れ、立ち寄ったものです。

日本で卒業記念旅行と言えば、だいたい「観光か遊び」となるようですが、彼女たちの目的は、初めから「日本の被災地でのボランティア活動」で、社会貢献を通じて、見聞を広め、生き方を見つめることです。

目的意識、2人だけでの旅行という行動力はもとより、自立心が素晴らしいと思いました。

前日まで会津若松市内の仮設住宅でボランティア活動をし、16日、いわき市に来たそうです。いわき市では、「ぜひ中学生と話してみたい」という希望と育英舎と縁がある関係で、本校での交流となりました。



本校を訪れたマリさんとハナさん

## 生徒会役員の抱負第3弾

今後の生徒会について

書記 2年 佐藤海斗

僕が目指している生徒会は、「常に目標や行う事の意味を意識せずとも、感じながら行える生徒会」です。

先日、本校では無遅刻連続日数150日を達成しましたが、これも一人一人が達成することを目標とし、それぞれの形で意識せずとも行うことができたからだと思います。生徒会の目標をみんなで達成することができたのは素晴らしいことです。続けて200日も達成したいと思っています。

先輩方や後輩と共に、2年生はもちろんのこと、みんなで何か一つのことを掲げ、成し遂げられる生徒会にしたいと考えています。小川中学校が今よりもより良い学校となるよう、全力で頑張っていきます。



今後の生徒会について

会計 3年 松葉綾

私が生徒会役員に入った理由は2つあります。1つは、遅刻者が出ないようにするためです。目標の150日を達成し、現在も遅刻者0の日が続いています。これからも続くよう、生徒会活動を通して呼びかけなどをしていきたいと思っています。

2つ目は、伝統を引き継ぐためです。先輩方から受け継がれてきた無言清掃とあいさつの声を、私たちが引き継いでいかなければならないと思うので、生徒会役員が中心となって伝統が薄れないようにしていきたいからです。

役員や上級生は後輩の見本となり、下級生は先輩をお手本として生活を送れば、伝統が引き継がれていくと思います。このように伝統が続く学校にしたいと思っています。



## 3年生受験準備始まる

三者懇談が終了し、3年生は現時点での希望の進学先を確認しました。8割の生徒が県立Ⅰ期選抜受験を希望しています。県立Ⅱ期選抜先はまだ流動的な面はありますが、全員が三者で目標を確認できたことは良かったです。

さて、現在、昌平高校の特進科や普通科希望生徒の願書を仕上げています。今年度からいわき秀英高校は県立Ⅱ期選抜での併願ができなくなりました。そのため、併願できる市内の私立高校は昌平高校、磐城一高、緑蔭高校の3校のみです。私立受験は12月から始まります。

